ムンバイ日本人会会員各位

5月幹事　三井住友銀行/目崎

2025年5月度 理事会議事録

1. 日時：2025年5月23日(金) 17時30分～18時30分（インド時間）
2. 場所：在ムンバイ日本国総領事館
3. 出席者：20名（敬称略、順不同）
八木総領事、金子首席領事、佐藤領事
東、石曽根、島川、結城、西並、宮入、根岸、星山、佐藤、鬼頭、吉田（昌）、北村、石本、伊藤、木田、西村、目崎

（欠席者：高橋、吉田（博）、神谷、加藤）

1. 報告事項：
* 領事館
先般のカシミール情勢に関連し、当館管内に所在の日本人会と連携して在留邦人の方々の安全について密に連携を取らせていただくと共に、パキスタン国境に接しているグジャラート州におられる在留邦人の所在確認を実施した。その過程で、在留届を提出いただいている方々に関して、既にご帰国されていることが判明したケースが相当数見受けられた。ついては、当地からご帰国・転出される方々においては、帰国・転出届の提出を励行願いたく、各社内でご周知いただけると幸い。
* 会長兼安全対策部

・インド・パキスタン情勢を受け、日本人会によるムンバイ在住邦人との連絡手段の再確認：会員への発信は一斉送信メールで。会員からの事案報告・確認受信の手段(案)としては、①一斉送信メールのCCに理事会メンバーのアドレスを入れて受信、もしくは②理事会メンバー会社で手分けして法人企業代表者および個人会員にコンタクト。

・南西アジア課長ご来訪(6/06)：

鬼頭さん(商社)、目崎さん(銀行)が参加ご表明。あと2名の参加が必要(商社重複で宮入)。

・日印国交樹立75周年事業の準備着手について：

大使館・インド各地の領事館の全体計画に沿って、ムンバイ日本人会も協力して誰が何をやるのか、毎月末の理事会の場で一から十まで協議するよりは、人数を絞った準備メンバー的なものを組成、素案を作ったうえで理事会の場で効率的に協議することを提案。

先ずは総領事/首席領事/日本人会会長/副会長によるkick-offの打合せを設ける。

* 国際部

特になし

* 商工部
特になし
* 文教部
特になし
* 総務部
	+ 法人関連
		- 1st Board Meeting の手続き完了（会社法上Meeting後15日以内に提出するべき資料）
		5月8日に必要書類を監査法人に提出済み。
		- Directorの解任と就任手続き
			* 吉田Directorおよび星山Directorの登録手続き開始
			* 神谷元Directorの退任手続き中
		- 今後の予定
			* 8月2nd Board Meeting（議決権　Director2名以上、内容：Annual General Meetingに向けて、決算資料のDirector事前承認）
			* 9月 AGM（議決権　理事メンバー2名以上、内容：理事より上記決算資料の承認）
	+ 会員数 2025年5月21日時点（2025年3月21日比較）
	次回の名簿更新は6月中旬。6月2週目に総務部尾崎より名簿更新のご案内を全員送信する予定。
	法人数 　　　　　 ：　104社(+4、入会4社、退会0社)
	法人所属個人会員数 ：　686人 (+35、入会73名、退会44名)
	個人会員数 　　　　 ：　21人　(-2、入会1名、退会2名)
	準会員数 　　　　　 ：　2人（±0、入会0名、退会0名）
	合計 　　　　　　　 ：　709人 (+27、入会74名、退会47名)
* 厚生部
ANAは今期より厚生部となった。損保ジャパンさんから早速引き継ぎを受けている。早期にキャッチアップに努める。
また今年度も医療相談会を開催するべく、調整を開始している。
* 文化部
５月３１日（土）に予定されている日本人会懇親会の状況報告とお願い
１）参加予定人数の報告（計493名参加登録←昨年は約370名）
２）遊具の説明及び安全対策
３）タイムテーブルの説明、八木総領事、宮入会長へのご挨拶の依頼
４）予算として予備枠１０万ルピー承認のお願い
　　（経費削減の努力、人数増によるアルコールの数量は確保等を説明）
５）不測の事態発生時は２６日（月）までに日程変更可能
　　⇒＊予備枠はご承認をいただいた。
　　　 ＊天候への心配の声あり。
* 広報部
・4月および5月に1件ずつ日本人会ホームページ経由で照会
・どちらもムンバイ出張にあたっての要望で、一つは日系企業の紹介依頼、もう一つはムンバイでのビジネス展開にあたって日本人会との面会要望
・日本人会は特定企業のビジネス支援を行うものではないことなどの理由から、対応できない旨ご回答。
* 会計部
日本人会会費の徴収手続き進行中。本日5/23を期限として進めているところ、1/3程度の徴収状況。ご協力をお願いしたい。
* ムンバイ日本人学校

5月23日現在、児童生徒３５名（小学部25名、中学部10名）。

インド・パキスタンの問題を受け、しばらくの間、領事館や文科省と情報を共有し、毎朝、学校運営正副委員長と連絡を取り合い、その日の教育活動について協議。現在は、落ち着いており、領事館と文科省には毎日学校の動きを報告。

6月4日から6日まで2泊3日で、児童生徒17名、引率教員4名で、チェンナイ方面の修学旅行を予定。ムンバイ総領事館のご協力により、チェンナイ総領事館の安全担当領事とも情報を共有。

引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げる。

1. その他

（ANA石本）

* インドパキスタン情勢に関連し、コロナ過では、在留邦人とのコミュニケーションは、全員メールを基本としていた。
* 公益性の高い情報については、領事館メールに記載いただくなどして配信することも多かった。
* 脱出便についての情報なども、基本的には領事メールに記載いただいた、と記憶している。
* 脱出便への搭乗可否などについては、当時の会長・副会長とJETROにて担っていただいており詳細まではわからないが　Googl Formを用いて意向確認を行っていた。

　　（次回理事会）

日時　 ：6月27日(金) 17:30～18:30（インド時間）

場所　 ：ムンバイ日本国総領事館

幹事会社 ：第一生命(根岸理事)

以 上